

中長期経営計画 ～ 長期構想「チャレンジ2030」

当社が目指す将来の姿を、全てのステークホルダーと共有し共感いただくため、新たに策定しました。
2050年のカーボンニュートラルに向け、働くモビリティである商用車・農建機などのメーカーや
プロフェッショナルユーザーが抱える課題解決の一翼を担い続けることを存在意義とし、
社員一人ひとりが意識・行動を変え、総力を結集し、魅力ある澤藤に進化します。

＜澤藤電機の存在意義＞

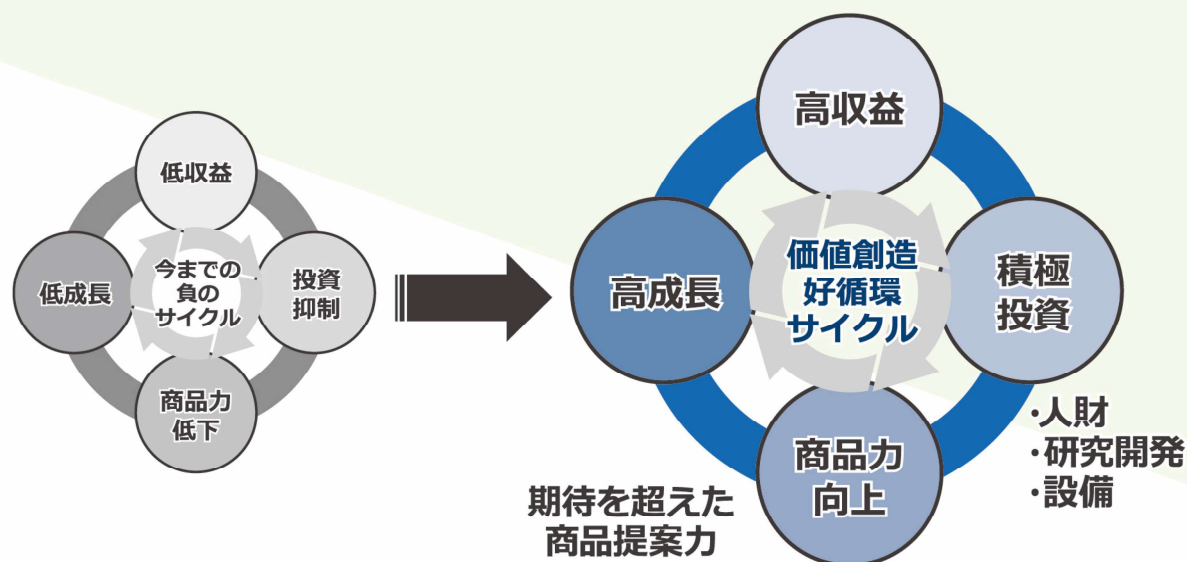
働くモビリティ社会の中で
課題解決の一翼を担い続ける



＜スローガン＞

エネルギー変換技術を進化させ、
世界で働くモビリティ/
プロフェッショナルユーザーの
困りごとを解決

意識・行動変革



一人ひとりが意識・行動を変え、総力を結集
自ら光り輝き、魅力ある澤藤に

サステナビリティ経営

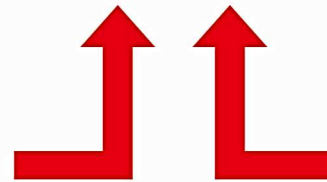
社員が安心してチャレンジできる企業基盤を整え、
環境戦略と財務戦略の二つの柱で、事業ポートフォリオを変革します。
働くモビリティ/プロフェッショナルユーザーの困りごと解決を通じて、
将来のカーボンニュートラル実現に貢献し、末永く存続する企業を目指します。

社会課題解決

環境戦略

価値創造による持続的な成長

- ・カーボンニュートラルに対応
- ・コア技術を進化させ困りごと解決



事業 ポートフォリオ 変革

財務戦略

財務健全化と収益構造改革

- ・スリムで筋肉質な経営基盤を確立

安心してチャレンジできる企業基盤

- ・人財育成など人的資本の強化
- ・揺るぎないガバナンス強化 (コンプライアンス、情報セキュリティなど)

安心してチャレンジできる企業基盤

風土改革の積極的な推進により、人的資本とガバナンスを強化します。
多様な社員が、健康で自己実現できる環境を整え、
コンプライアンスを徹底し、安心して誇りに思える会社づくりを進めます。

人的資本の強化

『一人ひとりが自己実現』

- ・学びと挑戦
- ・人権尊重
- ・健康



ガバナンスの強化

『安心して誇りに思える会社』

- ・コンプライアンスファースト
- ・情報セキュリティ強化
- ・社会貢献

環境戦略と財務戦略

澤藤電機のコアであるエネルギー変換技術を更に進化させ、環境改善に貢献する電動システムのグローバル展開を目指します。同時に、積極的な成長投資や在庫見直しなど、財務健全化も推進し、将来の社会課題解決に向け、事業ポートフォリオを変革します。

環境戦略

『電動化普及の大波に乗る』

- ・ コア技術の進化
- ・ 差別化による競争力の確保
- ・ グローバル展開

財務戦略

『財務の健康経営を実行』

- ・ 積極投資（人財・研究開発・設備）
- ・ 営業利益率の向上
- ・ 在庫適正化
- ・ 売掛金／買掛金バランス改善

優先取り組み課題と目標

中長期経営計画の実現に向け、サステナビリティ経営を加速するため、
必要な優先取り組み課題と目指す姿、目標を設定しました。

これらは、ESG及びSDGsの推進にも繋がります。
全社員の総力を結集し、社会課題の解決に取り組みます。

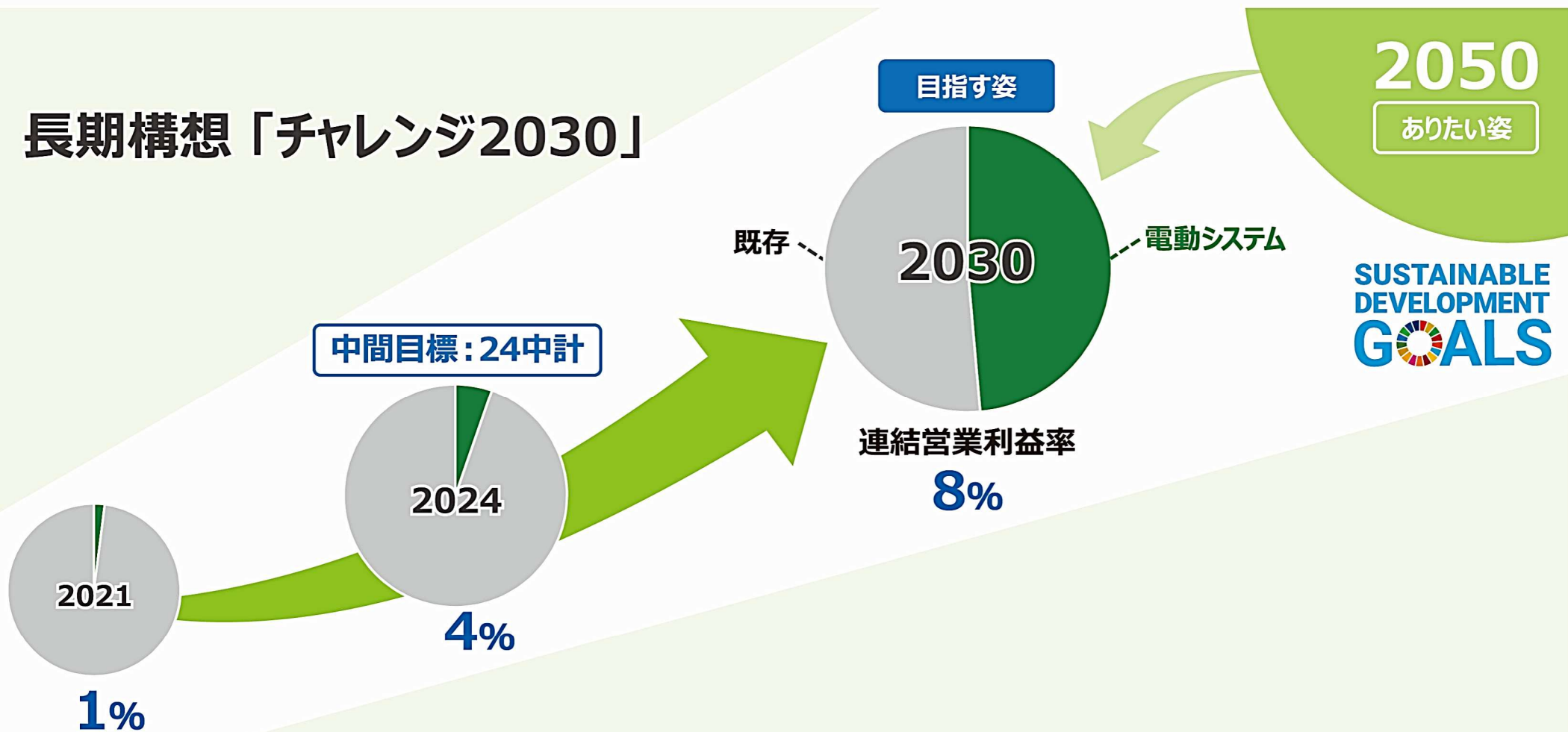
	取り組み課題*1	目指す姿*1	2030年度目標*2	SDGs
環境・財務	地球温暖化防止	- 働くモビリティの電動化に貢献しCO₂を可能な限り削減 - 性能向上と環境負荷低減の両立する開発・設計を推進 - 生産活動や製品・サービスにおいて、地球環境の保護に努める継続的な改善を約束 - お客様に喜んでいただける高品質な製品を提供	2050年カーボンニュートラルに向け ・企業活動におけるCO ₂ 排出量の削減*3 2013年度比 ▲50% (▲48%) ・電動システム製品普及 売上高 220億円 (18億円)	     
	環境負荷物質低減			
	大気汚染防止			
	資源有効利用			
	水資源の節約			
安心してチャレンジできる企業基盤	人財育成／人財活躍推進	- 社員一人ひとりが安心して、健康で能力を最大限発揮できる職場環境づくりを推進 - 社員をはじめバリューチェーンなどを含むすべてのステークホルダーの人権を尊重した事業活動を行う	・ワークエンゲージメント 肯定回答率*4 70% (65%) ・女性管理職比率 20% (3%) ・従業員定着率 90%以上 (90%)	 
	働き方改革／働きがい向上			
	人権尊重 持続可能な調達			
	健康／安全衛生	仕入先様と共に相互の発展・成長を目指し、環境問題、人権問題、コンプライアンス等に配慮した事業活動を行う	・人権研修参加率 100% (100%)	 
	コンプライアンス		・重大災害 0件 (0件)	 
	情報セキュリティ強化	- 各国の法令を順守、安全保障を意識し、一人ひとりが高い倫理観をもって社会的責任を果たす - 情報資産の保護に最善を尽くす	・重大法令違反 0件 (0件) ・重大セキュリティインシデント 0件 (0件)	 
	ガバナンス	社会動向や外部環境変化、澤藤電機の企業風土を踏まえ、実効性のあるガバナンス体制へ進化させ、上記優先課題の目標達成を支える		

2030年に目指す姿

強固な企業基盤構築と同時に、培ったコア技術を活かした環境対応商品と、財務健全化により、
電動システムを主軸とした事業ポートフォリオに変革します。

この取り組みを通じ、2030年には連結営業利益率を8%に伸ばし、
将来のカーボンニュートラル社会に欠かせない、世界のサワフジを目指します。

長期構想「チャレンジ2030」



企業基盤を固め、事業ポートフォリオを変革し、世界のサワフジに